



市の決算と財政状況

平成28年度の各会計決算と主な取り組み

決算は9月12日から開催の定例市議会で審議されています。

水道事業会計と下水道事業会計の平成28年度決算は6頁でお知らせします。

問い合わせ 財政課（市庁舎5階、 ☎ 65・4106）

一般会計の収支

平成28年度の決算額は、歳入が823億6662万円、歳出が819億8428万円、差引額が3億8234万円でした。（図1）この差引額には、平成28年度中に事業が完了しなかったため、平成29年度に繰り越した事業の財源1526万円も含むことから、これを除いた実質的な黒字額は3億6708万円でした。（表1）

歳入の状況

昨年度に比べて、市税が約2億2000万円、国庫支出金が約4億1000万円、除雪費用や災害復旧に要する費用の財源とするための基金の取り崩しなどで繰入金（図1では「その他」に含む）が約5億4000万円増加しました。

歳出の状況

昨年度に比べて、民生費が約17億8000万円、市債の返還などに充てる公債費で約4億1000万円増加しました。また、一連の台風により被害を受けた農地や公共施設などの復旧・修復に係る事業が減少したことによって、市の長

図1 一般会計の歳入・歳出



※〔 〕は前年比
※歳出の各項目には、関係する職員の給与費を含めています。

表1 一般会計と特別会計の決算

会計区分		歳入	歳出	翌年度繰越事業財源	実質収支
一般会計		823億6662万円	819億8428万円	1526万円	3億6708万円
特別会計	国民健康保険会計	206億7477万円	204億 890万円	—	2億6587万円
	後期高齢者医療会計	21億2676万円	20億4933万円	—	7743万円
	介護保険会計	134億9264万円	131億6997万円	—	3億2267万円
	中島霊園事業会計	6156万円	6156万円	—	—
	簡易水道事業会計	8150万円	8150万円	—	—
	農村下水道事業会計	1億3401万円	1億3401万円	—	—
	ばんえい競馬会計	169億9273万円	169億2395万円	—	6878万円
	駐車場事業会計	1億 215万円	1億 215万円	—	—
	空港事業会計	11億4154万円	11億4154万円	—	—
合 計		1371億7428万円	1360億5719万円	1526万円	11億 183万円

図2 実質公債費比率の推移

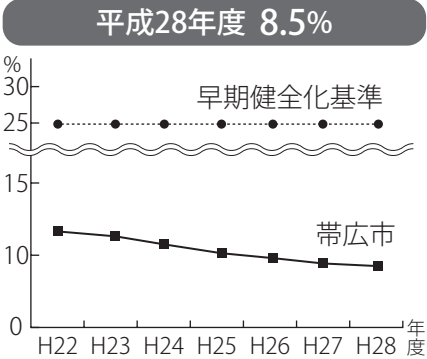
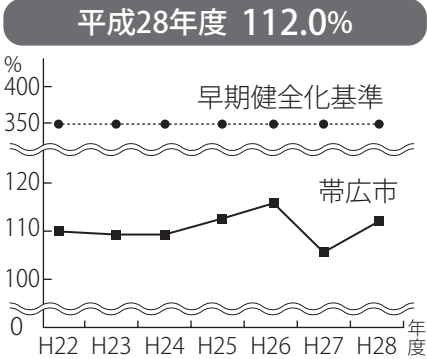


図3 将来負担比率の推移



帯広市の財政状況

自治体の財政状況を比較する資料に、健全化判断比率と財務諸表があります。

健全化判断比率が示す財政の健全さ

自治体全体の財政状況を把握し明らかにするため、財政健全化法による四つの指標の公表が各自治体に義務付けられています。

実質赤字比率と連結実質赤字比率

普通会計※1の実質的な赤字額が、市の標準的な収入に対してどのくらいの割合になるのかを示す指標が「実質赤字比率」です。これに、特別会計や企業会計も含めた指標が「連結実質赤字比率」です。いずれの指標も、平成28年度は黒字決算のため、実質赤字比率は算出されません。

実質公債費比率と将来負担比率

「実質公債費比率」は、一般会計などが負担する長期の借入金の返済や、それに準ずる支出が、市の標準的な収入に対してどのくらいの割合になるのかを示す指標です（過去3カ年平均）。家計に例えると、住宅ローンなどの返済額の合計が年収に占める割合になります。（図2）

「将来負担比率」は、一般会計などが抱える実質的な負債の残高が、市の標準的な収入に対してどのくらいの割合になるのかを示す指標です。家計に例えると、住宅ローンなどの借入金の残高が、現在の年収の何パーセントになるかを示す割合になります。（図3）市の平成28年度の財政状況はいずれも早期健全化基準※2を下回っています。

これからの帯広市の財政

帯広市の財政は、健全化判断比率などから見て、健全な状況を維持しています。しかし、高齢化の進行などに伴う社会保障費の増加や、公共施設の老朽化に対する対応が必要となってきた一方、国からの交付税などは減少していることから、今後も厳しい財政運営が続くことが予想されます。こうしたことを踏まえ、限られた財源の中で、事業の選択と集中を図りながら、市民の皆さんにとって、希望の未来につながっていくよう、「フードバレーとかち」をはじめとする各種施策の推進に取り組んでいきます。

※1 普通会計 全国の自治体の財政状況を比較するための会計基準。市では一般会計に中島霊園事業会計と空港事業会計を加えたもの。 ※2 早期健全化基準 財政破綻を防止するために設けられた危険水準を表す。四つの健全化判断比率のうち一つでも基準値を上回ると、財政の健全化に取り組む必要がある。

平成 28 年度 主な事業と決算額

平成 28 年度に実施した主な事業の一部を「第 6 期総合計画」の体系に基づき紹介します。

安全に暮らせるまち

- 地域防災力の強化に向けた取り組み（地域防災訓練の実施、備蓄食料の更新など）【1935 万円】
- 明星橋の復旧に向けた実施設計、撤去工事【5496 万円】
- 川西支所、川西第一分団詰所を併設した川西合同庁舎の耐震診断【192 万円】
- 「とかち広域消防局」の運用開始【16 億 2130 万円】



十勝全域を管轄する「とかち広域消防局」

健康でやすらぐまち

- 日本脳炎や B 型肝炎の定期予防接種化【6489 万円】
- 地域の精神医療を担う公的病院の運営に対する支援【9744 万円】
- 高齢者いきいきふれあい館「まちなか」開設に対する支援【216 万円】
- 小規模特別養護老人ホームの整備などに対する補助【4 億 2450 万円】
- 手話言語条例の制定を記念した講演会の開催など【245 万円】
- 第 2 緑ヶ丘児童保育センターの建設【1 億 2040 万円】

活力あふれるまち

- ^{バレイショ}馬鈴薯集出荷施設の整備などに対する補助【2 億 9890 万円】
- 農業用 GPS 基地局の整備に対する補助【447 万円】
- ICT 農業の推進などに対する資金貸付制度の充実【1 億 4061 万円】
- 十勝型 GAP^{※3}の導入促進【400 万円】
- 中小企業の HACCP^{※4}導入事例集の発行【124 万円】
- 十勝・イノベーション・エコシステムの推進（産官学金が連携した創業・起業支援システムの構築）【7039 万円】

- 十勝らしい体験・滞在型観光の推進（十勝のアウトドアブランド化に向けた調査、十勝アウトドア DMO^{※5}の設立準備）【3881 万円】
- 釧路市・網走市と連携した観光プロモーションの実施【600 万円】
- 「フードバレー」を通じた道外地域とのイベント交流【40 万円】



フードバレー交流都市・熊本市「くまモン」と交流

自然と共生するまち

- 新たな省エネ機器（HEMS^{※6}）導入に対する補助【72 万円】
- PM2.5（微小粒子状物質）の測定【28 万円】
- 家庭から出る剪定枝^{さていし}の無料受け入れ【23 万円】
- 簡易水道や農村下水道の中長期的な施設更新計画の策定【1523 万円】
- 浸水リスクの把握を目的としたシミュレーションの実施【2047 万円】

生涯にわたる学びのまち

- 学校トイレの洋式化を推進【1444 万円】
- 地域ぐるみで子どもを応援する活動を支援する「こども学校応援地域基金」の創設【1115 万円】
- 視覚に障害のある人にデジタル録音図書の貸し出しを開始【129 万円】
- 動物展示施設の整備や動物購入などを目的とした「おびひろ動物園ゆめ基金」の創設【213 万円】
- 2017 冬季アジア札幌大会の開催（帯広市ではスピードスケート競技開催）【8992 万円】
- 新しい総合体育館の建設に向けた用地の取得や、PFI^{※7}方式による事業者の公募、選定など【2578 万円】

自立と協働のまち

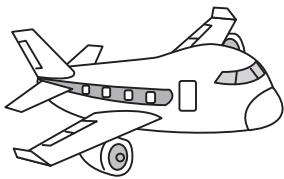
- スマートフォンなどによる閲覧に最適化した市ホームページのトップページを追加【35 万円】
- 「帯広市公共施設マネジメント計画」の策定【653 万円】
- 社会保障・税番号制度の運用に伴う対応【9947 万円】
- おびひろ応援寄附金寄附環境の充実【8 万円】

快適で住みよいまち

- 帯広市空家等対策計画の策定など【239 万円】
- 公営住宅の整備【3 億 332 万円】
- 道内空港の一括民間委託に係る検討および準備作業【5847 万円】
- 空港機能の強化を目的としたターミナルビル増築に対する支援【5 億 250 万円】
- 空港エプロン（駐機場）拡張に向けた実施設計【2559 万円】



とかち帯広空港の新旅客ターミナルビルが完成



思いやりとふれあいのまち

- 清流の里福祉センターの建設【1 億 1626 万円】
- 鉄南コミュニティセンターの耐震補強【2894 万円】
- 大分市との姉妹都市締結 50 周年を記念した訪問団の相互交流【129 万円】
- 米国マディソン市との姉妹都市締結 10 周年を記念した訪問団の相互交流など【643 万円】



大分市の郷土料理を教わりました

用語解説

- ※ 3 ^{ギャップ}GAP …… 農業生産工程の正確な実施、記録、点検、評価などを行うことによる持続的な改善活動
- ※ 4 ^{ハサップ}HACCP … 食品を製造する際に潜む危険を科学的に記録、分析した上で、安全管理基準を高める衛生管理の手法
- ※ 5 ^{DMO}DMO …… 観光を核とする地域づくりのかじ取り役を担う組織
- ※ 6 ^{ヘムス}HEMS …… 家庭で使うエネルギーを節約するための管理システム
- ※ 7 ^{PFI}PFI …… 公共施設などの建設、維持管理、運営などを民間の資金と能力を活用して行う手法